



反射材の活用と早めのライト点灯で事故防止



暑さが去りやらぬ毎日ですが、朝夕には少しずつ秋の空気を感じられるようになりました。これからの時期は、日没時間が早まり、ドライバーが歩行者などを認識しづらくなる薄暮時間帯と仕事や学校からの帰宅時間が重なるため交通事故の発生が多くなる傾向にあります。

夕暮れ時や夜間に外出する際は、明るい目立つ色の服を着て、反射材を着用しましょう。交通事故を防ぐため『相手に気づいてもらう』ことが大切です。

車を運転するときは、早めのライト点灯とハイビームの活用を心がけましょう。暗い道で対向車や先行車がない場合は、前照灯を上向きにすることで、歩行者などを遠くから発見することができます。

また、**9月21日～30日までの10日間は、「秋の全国交通安全運動」**が展開され、重点項目でも「歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進」「夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進」などが定められています。安全運転を心がけ、交通事故のない秋を過ごしましょう。



津波からすぐに逃げよう！

7月30日(水)、カムチャツカ半島付近で発生した地震の影響により、日本の太平洋沿岸部に津波の到達が予想され、県内でも津波注意報が発表されました。

もし、居住地域に津波警報・津波注意報が発表されたら・・・

- ① まずは海岸から離れる
海水浴や釣りなどで海岸にいる場合は、すぐに海から上がり、海岸から離れてください。
- ② 避難場所への移動
近くの高台、津波避難ビル、津波避難タワー等避難場所までの経路を確認し、速やかに移動してください。
- ③ 安全確保
津波警報・津波注意報が解除されるまで、安全な場所に留まるようにし、決して海岸の様子は確認しに行かないでください。
- ④ 情報収集
自治体の避難指示や各地の被害状況等、テレビやラジオ、インターネットなどで津波に関する最新の情報を確認してください。



津波からの避難は“遠く”より“高く”、原則徒歩で！！